

大町町の特徴や誇れるもの

町のキャッチフレーズ

「挑戦。そして創造 磨き輝く小さな原石 大町町。」

大町町は近世から長崎街道の「間の宿」として栄え、江戸時代後期には民政の中心となる、横辺田代官所がおかれていました。明治42年に杵島炭鉱が創業し、各地から人が集まり、昭和16年には人口24,000人の最盛期を迎えました。炭鉱マンの愛した「たろめん」は、ご当地B級グルメとして人気を集めています。

北部は南面傾斜をした山麓で町のシンボル聖岳がそびえており、果樹園地や畑となっています。美しい溜池は、県内有数のバスフィッシングの名所となっています。一方南部には、白石平野の一角をなす耕作地が広がります。

教育委員会所在地: 杵島郡大町町大字大町5017

連絡先: 0952-82-3177

学校数: 小中一貫校 1校

大町町立小中一貫校大町ひじり学園



町内唯一の小中一貫校です。キャリア教育を視点に9年間の小中一貫教育とコミュニティ・スクールを推進しています。学力向上、生徒指導で効果を上げています。

大町町郷土学習デジタル教材 「わたしたちの大町町」(H25年作成)

子供達が社会科や総合的な学習の時間に活用し、地域のよさや歴史、伝説などを学んでいます。大町を愛する心を育みます。



伝説の地 長寿の滝

町教委HPでは、「ふるさと発見」 「大町町の伝説」のページを開設し、コラムを連載中です。

地域と共にある学校

大町町の子供達は、地域行事によく参加します。また、学校にはたくさんの地域住民が学校ボランティアとして活動しています。地域の方々とふれあうことで地域への関心も高まっています。



町の名所・旧跡の紹介



重文 土井家住宅

炭鉱の記憶

ボタ山わんぱく公園

煉瓦館